

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)
- ・製品コード US-242-1
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 分析化学研究所用の試薬および基準
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・供給者の会社名称、住所及び電話番号
アジレント・テクノロジー株式会社
住所
〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
- ・その他の情報問い合わせ先:
電話番号
+81-42-660-3111
- pdl-msds_author@agilent.com
- ・緊急連絡電話番号 CHEMTREC®: +(81)-345209637

2 危険有害性の要約

・化学品のGHS分類



火炎

引火性液体 区分2

H225 引火性の高い液体及び蒸気



頭蓋骨と大たい骨

急性毒性(経口) 区分3

H301 飲み込むと有毒

急性毒性(経皮) 区分2

H310 皮膚に接触すると生命に危険

急性毒性(吸入) 区分3

H331 吸入すると有毒



健康に危険

生殖細胞変異原性 区分1B

H340 遺伝性疾患のおそれ

発がん性 区分1A

H350 発がんのおそれ

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1 H370 臓器の障害

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1 H372 中枢神経系と造血系を長期間または繰り返された露出によって損傷させる。

吸引性呼吸器有害性 区分1

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ



環境

水生環境有害性(急性毒性) 区分1

H400 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性(慢性毒性) 区分1

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

(2ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(1ページの続き)



皮膚腐食性/刺激性 区分2 H315 皮膚刺激
 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A H319 強い眼刺激
 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 H336 眠気又はめまいのおそれ

・GHSラベル要素 (絵表示又はシンボル, 注意喚起語, 危険有害性情報及び注意書き)

・GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

・絵表示



GHS02 GHS06 GHS08 GHS09

・注意喚起語 危険

・危険と定められた成分をラベル表示:

ベンゼン
 ジクロロメタン (別名塩化メチレン)
 パラチオン
 【ホレート】

・危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気
 H301+H331 飲み込んだ場合や吸入した場合は有毒
 H310 皮膚に接触すると生命に危険
 H315 皮膚刺激
 H319 強い眼刺激
 H340 遺伝性疾患のおそれ
 H350 発がんのおそれ
 H370 臓器の障害
 H336 眠気又はめまいのおそれ
 H372 中枢神経系 と 造血系 を長期間または繰り返された露出によって損傷させる。
 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

・注意書き

P101 医学的な助言が必要となきには, 製品容器やラベルをもっていくこと。
 P102 子供の手の届かないところに置くこと。
 P103 使用前にラベルをよく読むこと。
 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P210 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P240 容器を接地しアースをとること。
 P241 防爆型の【電気機器 / 換気装置 / 照明機器】を使用すること。
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P262 眼, 皮膚, 衣類につけないこと。
 P264 取扱い後はよく洗うこと。

(3ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(2ページの続き)

- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに毒物センター/医師に連絡すること。
- P321 特別な処置が必要である(このラベルのを見よ)。
- P330 口をすすぐこと。
- P331 無理に吐かせないこと。
- P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい
て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P361+P364 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P370+P378 火災の発生時: 鎮圧の目的で使用: CO₂、パウダー、散水車
- P391 漏出物を回収すること。
- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。
- P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出
- ・GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

3 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別: 混合物
- ・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

危険な含有成分:

75-09-2	ジクロロメタン(別名塩化メチレン) ⚠ 発がん性 区分2, H351; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 水生環境有害性(急性毒性) 区分3, H402	42.3434%
71-43-2	ベンゼン ⚠ 引火性液体 区分2, H225; ⚠ 急性毒性(経皮) 区分1, H310; ⚠ 生殖細胞変異原性 区分1B, H340; 発がん性 区分1A, H350; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 吸引性呼吸器有害性 区分1, H304; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	27.909%
67-64-1	アセトン ⚠ 引火性液体 区分2, H225; ⚠ 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336	25.3344%
52-85-7	ファムフル ⚠ 急性毒性(経口) 区分2, H300; ⚠ 急性毒性(経皮) 区分4, H312; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	0.2006%

(4ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(3ページの続き)		
56-38-2	パラチオン ⚠ 急性毒性(経口) 区分2, H300; 急性毒性(経皮) 区分1, H310; 急性毒性(吸入) 区分1, H330; ⚠ 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2B, H320	0.2006%
60-51-5	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル] ⚠ 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分3, H311; ⚠ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠ 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2B, H320; 水生環境有害性(急性毒性) 区分2, H401	0.2006%
70-30-4	ヘキサクロロフェン ⚠ 急性毒性(経口) 区分3, H301; ⚠ 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410	0.2006%
76-01-7	ペンタクロロエタン ⚠ 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; ⚠ 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411; ⚠ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336; 水生環境有害性(急性毒性) 区分2, H401	0.2006%
94-59-7	サフロール ⚠ 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 発がん性 区分1B, H350; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302	0.2006%
95-94-3	1, 2, 4, 5 - テトラクロロベンゼン ⚠ 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336; 授乳に対するまたは授乳を介した影響, H362	0.2006%
103-33-3	アゾベンゼン ⚠ 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 発がん性 区分2, H351; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302	0.2006%
126-68-1	O,O,O-トリエチルホスホロチオアート ⚠ 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 急性毒性(吸入) 区分1, H330; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	0.2006%
130-15-4	1, 4 - ナフトキノン ⚠ 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(吸入) 区分1, H330; ⚠ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2, H371; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	0.2006%
135-23-9	塩酸メタピリレン ⚠ 急性毒性(経口) 区分3, H301	0.2006%

(5ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(4ページの続き)		
298-00-0	【メチルパラチオン】 急性毒性(経口) 区分2, H300; 急性毒性(経皮) 区分2, H310; 急性毒性(吸入) 区分2, H330; 生殖細胞変異原性 区分2, H341; 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2B, H320	0.2006%
298-02-2	【ホレート】 急性毒性(経口) 区分1, H300; 急性毒性(経皮) 区分1, H310; 急性毒性(吸入) 区分1, H330; 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410	0.2006%
298-04-4	ジチオりん酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル) 急性毒性(経口) 区分1, H300; 急性毒性(経皮) 区分1, H310; 急性毒性(吸入) 区分1, H330; 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410	0.2006%
465-73-6	イソドリン 急性毒性(経口) 区分2, H300; 急性毒性(経皮) 区分1, H310; 急性毒性(吸入) 区分2, H330; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410	0.2006%
510-15-6	クロロベンジラート 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; 急性毒性(経口) 区分4, H302; 急性毒性(経皮) 区分4, H312; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2B, H320	0.2006%
608-93-5	1, 2, 3, 4, 5 - ペンタクロロベンゼン 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2, H371; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; 急性毒性(経口) 区分4, H302; 授乳に対するまたは授乳を介した影響, H362	0.2006%
2303-16-4	ジイソプロピルチオカルバミド酸S - (2, 3 - ジクロロアリル) 急性毒性(経皮) 区分3, H311; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411; 急性毒性(経口) 区分4, H302; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2, H319; 引火性液体 区分4, H227; 水生環境有害性(急性毒性) 区分2, H401	0.2006%
3689-24-5	【スルホテップ】 急性毒性(経口) 区分2, H300; 急性毒性(経皮) 区分1, H310; 急性毒性(吸入) 区分1, H330; 生殖毒性 区分2, H361; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1, H370; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1, H372; 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2B, H320	0.2006%

*

4 応急措置

応急手当処置に関する説明

一般情報:

プロダクトの付着した衣類は速やかに脱ぐこと

(6ページに続く)

JP

安全データシート JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(5ページの続き)

中毒症状は時間がかかり経過した後に現れる場合もあるため、事故後最低48時間は医師の監視のもとで過ごすこと

呼吸防護マスクは汚染衣服を脱いだ後にはずすこと

呼吸が不規則な場合あるいは呼吸停止の際には人工呼吸器を使用のこと

・**吸入した場合**

外気もしくは酸素を送り込む、医者への助けを借りる

意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する

・**皮膚に付着した場合** 即刻石鹸と水で洗い、よくすすぐ

・**眼に入った場合**

瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、状態がよくなる場合には医者に相談する

・**飲み込んだ場合** 吐かずに、即医者を呼ぶ

・**急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状** 追加的な関連情報は得られていません。

・**何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候** 追加的な関連情報は得られていません。

5 火災時の措置

・**消火剤**

・**適切な消火剤**

CO₂、消火粉末剤あるいは水放射。火が大きい場合には水放射もしくは耐アルコール性泡を使用

・**使ってはならない消火剤** 全開状態で放水

・**本化学物質または混合物から発生する特別な危険性** 加熱もしくは火災の際に有毒ガスが発生する

・**消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**

・**特別な保護装備:** 呼吸保護マスクを着用

6 漏出時の措置

・**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

呼吸保護装備を着用

防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない

・**環境に対する注意事項**

製品が下水処理施設や河川に流れ込まないようにする

河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する

下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする

・**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する

13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する

十分な換気を心がける

・**他のセクションへの言及**

安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照

人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照

廃棄処分に関しては 13 項参照

7 取扱い及び保管上の注意

・**取扱い**

作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける

容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う

エアゾールの発生を防ぐ

(7ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(6ページの続き)

- ・火災および爆発防止に関する注意事項:
発火元は遠ざける。禁煙
静電荷を防ぐ措置をほどこす
呼吸保護装置を用意しておく
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管
保管スペースおよび容器に関する要求事項: 涼しい場所に保管する
- ・同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない
- ・保管条件に関するその他の注意事項:
容器は密閉した状態に保つ
よく密閉した樽の中で涼しく乾燥した場所に保管する
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

8 ばく露防止及び保護措置

・許容濃度等

・作業場において限界値の監視を要する成分:

75-09-2 ジクロロメタン (別名塩化メチレン)

OEL	長期値: 170 mg/m ³ , 50 ppm 最大許容濃度: 340 mg/m ³ , 100 ppm
-----	--

67-64-1 アセトン

OEL	長期値: 470 mg/m ³ , 200 ppm
-----	--------------------------------------

・生物学的許容値を持つ原料:

75-09-2 ジクロロメタン (別名塩化メチレン)

OEL-B	0.2 mg/l 試料: urine 試料採取時期: end of shift 物質: Dichloromethane
-------	--

67-64-1 アセトン

OEL-B	40 mg/l 試料: urine 試料採取時期: Within 2h prior to end of shift 物質: Acetone
-------	--

・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている

・設備対策

・技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照

・保護具

・一般防止措置および衛生措置:

- 食物、飲み物、飼料からは遠ざける
- 汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ
- 休憩の前、作業終了後には手を洗う
- 防護服は別に保管する
- 眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

・呼吸保護器具:

Agilent の指示に従って目的どおりに使用した場合、通常のラボ条件下および標準的な方法での製品の使用による著しい気中浮遊暴露は生じないため、呼吸用保護具は不要です。
呼吸用保護具が必要であると見なされる緊急条件下では、適切な有機ガスまたは酸性ガスカートリッジを備えた NIOSH または同等の承認済み保護具を使用してください。

(8ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(7ページの続き)

手の保護:

化学物質に持続的に接触する場合や洗浄時の使用には推奨できませんが、通常の使用には厚さ 0.28~0.33 ミリのニトリル手袋をお勧めします。

破過時間は 1 時間です。

化学物質に直接接触する流出物の洗浄時には、破過時間が 4 時間を超える、厚さ 0.30~0.38 ミリのブチルゴム手袋をお勧めします。供給業者の推奨事項に従ってください。

手袋材

通常使用時:

ニトリルゴム、厚さ 0.28~0.33 ミリ

化学物質に直接接触する場合:

ブチルゴム、厚さ 0.30~0.38 ミリ

手袋材の浸透時間

通常使用時:

ニトリルゴム:

1 時間

化学物質に直接接触する場合:

ブチルゴム:

> 4 時間

眼の保護:



密閉式保護めがね

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報

一般指示事項

物理状態

液状

色

製品説明書どおり

臭い

特徴的

嗅覚閾値

決まっていない。

融点 / 凝固点 (混合物の場合は、記載省略可)

決まっていない

沸点又は初留点及び沸点範囲

40 °C

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

下限:

1.2 Vol %

上限:

22 Vol %

引火点

-17 °C

自然発火点

プロダクトは自然発火しない

分解温度

決まっていない。

pH

決まっていない。

粘性:

動粘性率

決まっていない。

力学的:

決まっていない。

溶解度 (混合物の場合は、記載省略可)

水:

混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない

n-オクタノール / 水分分配係数 (log 値) (混合物の場合は、記載省略可)

決まっていない。

蒸気圧 約 20 °C

360 hPa

(9ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(8ページの続き)

- 密度及び / 又は相対密度 - 密度: - 相対的密度 - 蒸気密度	- 決まっていない - 決まっていない - 決まっていない
- その他のデータ - 外観 - 形: - 健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項 - 発火温度: - 爆発の危険: - 溶剤含有量: - 有機溶剤: - 固形物含有量: - 状態の変化 - 気化速度	- 液状 465 °C - ブロダクトは爆発する危険はない。ただし爆発する危険のある蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある 96.4 % 2.6 % - 決まっていない

10 安定性及び反応性

- 反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- 化学的安定性
- 熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- 危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない
- 避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- 混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。
- 危険有害な分解生成物 危険な分解ブロダクトはない

11 有害性情報

- 毒性学的影響に関する情報
- 急性毒性
- 飲み込んだ場合や吸入した場合は有毒
- 皮膚に接触すると生命に危険

分類上の LD/LC50 値:

ATE (急性毒性推定値)

口	LD50	213 mg/kg
皮膚	LD50	>138 mg/kg
吸収	LC50/4 h	4.15 mg/L

75-09-2 ジクロロメタン (別名塩化メチレン)

口	LD50	1,600 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>2,000 mg/kg (rat)
吸収	LC50/4 h	88 mg/L (rat)

(10ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(9ページの続き)

71-43-2 ベンゼン

口	LD50	3,340 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	48 mg/kg (mouse) >8,260 mg/kg (rabbit)
吸収	LC50/4 h	9,980 mg/L (mouse)

67-64-1 アセトン

口	LD50	5,800 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	20,000 mg/kg (rabbit)

52-85-7 ファムフル

口	LD50	28 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	1,460 mg/kg (rabbit)

56-38-2 パラチオン

口	LD50	2 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	6.8 mg/kg (rat)

60-51-5 ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]

口	LD50	387 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>1,000 mg/kg (rabbit)
吸収	LC50/4 h	>1,553 mg/L (rat)

70-30-4 ヘキサクロロフェン

口	LD50	60 mg/kg (rat)
吸収	LC50/4 h	340 mg/L (rat)

94-59-7 サフロール

口	LD50	1,950 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>5,000 mg/kg (rabbit)

95-94-3 1, 2, 4, 5 - テトラクロロベンゼン

口	LD50	1,500 mg/kg (rat)
---	------	-------------------

103-33-3 アゾベンゼン

口	LD50	1,000 mg/kg (rat)
---	------	-------------------

130-15-4 1, 4 - ナフトキノン

口	LD50	190 mg/kg (rat)
吸収	LC50/4 h	46 mg/L (rat)

298-00-0 【メチルパラチオン】

口	LD50	6.01 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	67 mg/kg (rat) 300 mg/kg (rabbit)

298-02-2 【ホレート】

口	LD50	1.6 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	2.5 mg/kg (rat)

298-04-4 ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)

口	LD50	2 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	20 mg/kg (rat)

(11ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(10ページの続き)

465-73-6 イソドリン

口 LD50 7 mg/kg (rat)

皮膚 LD50 23 mg/kg (rat)

510-15-6 クロロベンジラート

口 LD50 700 mg/kg (rat)

皮膚 LD50 >1,000 mg/kg (rabbit)

608-93-5 1, 2, 3, 4, 5 - ペンタクロロベンゼン

口 LD50 1,080 mg/kg (rat)

皮膚 LD50 >2,500 mg/kg (rat)

2303-16-4 ジイソプロピルチオカルバミド酸S - (2, 3 - ジクロロアリル)

口 LD50 395 mg/kg (rat)

3689-24-5 【スルホテップ】

口 LD50 5 mg/kg (rat)

皮膚 LD50 20 mg/kg (rat)

吸収 LC50/4 h 38 mg/L (rat)

- ・皮膚腐食性 / 刺激性 皮膚刺激
- ・眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 強い眼刺激
- ・生殖細胞変異原性 遺伝性疾患のおそれ
- ・発がん性 発がんのおそれ
- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
臓器の障害
眠気又はめまいのおそれ
- ・特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
中枢神経系と造血系を長期間または繰り返された露出によって損傷させる。
- ・呼吸器に危険 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

12 環境影響情報

- ・毒性
- ・水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・土壤中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・他の副作用
- ・注: 魚類に対して毒性が非常に高い
- ・その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・一般注意事項:
水への危険度分類 3 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性が大きい
地下水、河川あるいは下水施設に極少量でも流してはならない
地下に極少量流れ込んでも飲料水を汚染する
水域においては魚やプランクトンにも毒性がある

(12ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

水生生物にとり非常に毒性が高い

(11ページの続き)

13 廃棄上の注意

- 化学品 (残余廃棄物) ,当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で,かつ,環境上望ましい廃棄,又はリサイクルに関する情報
- 勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- 洗浄されていないパッケージ:
- 勧告: 関係当局の規則に従って処分する

14 輸送上の注意

規定なし。デミニミスの免除。	-
国連番号 ADR, IMDG, IATA	UN3021
品名 (国連輸送名) ADR IMDG IATA	3021 PESTICIDE, LIQUID, FLAMMABLE, TOXIC, N.O.S. (ACETONE, BENZENE), ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS PESTICIDE, LIQUID, FLAMMABLE, TOXIC, N.O.S. (ACETONE, BENZENE), MARINE POLLUTANT PESTICIDE, LIQUID, FLAMMABLE, TOXIC, N.O.S. (ACETONE, BENZENE)
国連分類 (輸送における危険有害性クラス) ADR	
  	
分類 危険物ラベル	3 可燃性液体成分 3+6.1
IMDG	
  	
Class Label	3 可燃性液体成分 3/6.1
IATA	
 	
Class	3 可燃性液体成分

(13ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(12ページの続き)

・ Label	3 (6.1)
・ 容器等級 ・ ADR, IMDG, IATA	II
・ 環境危険: ・ 海洋汚染物質 ・ 特別マーキング (ADR):	このプロダクトには環境に毒性のある成分が含まれている: イソドリン シンボル (魚やツリー) シンボル (魚やツリー)
・ ユーザー用特別予防措置 ・ ケムラー符号: ・ EMS (電子メールサービスナンバー) 番号: ・ Segregation groups ・ Stowage Category ・ Stowage Code	警告: 可燃性液体成分 336 F-E,S-D Liquid halogenated hydrocarbons B SW2 Clear of living quarters.
・ MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
・ 輸送/その他の説明:	
・ ADR ・ Excepted quantities (EQ)	Code: E2 Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml Maximum net quantity per outer packaging: 500 ml
・ IMDG ・ Limited quantities (LQ) ・ Excepted quantities (EQ)	1L Code: E2 Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml Maximum net quantity per outer packaging: 500 ml
・ UN "模範規制:	UN 3021 PESTICIDE, LIQUID, FLAMMABLE, TOXIC, N.O.S. (ACETONE, BENZENE), 3 (6.1), II, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS

*

15 適用法令

・ Concentration of Chemicals		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	42.3434%
71-43-2	ベンゼン	27.909%
67-64-1	アセトン	25.3344%
52-85-7	ファムフル	0.2006%
56-38-2	パラチオン	0.2006%
60-51-5	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]	0.2006%
70-30-4	ヘキサクロロフェン	0.2006%
76-01-7	ペンタクロロエタン	0.2006%
94-59-7	サフロール	0.2006%
95-94-3	1, 2, 4, 5 - テトラクロロベンゼン	0.2006%
98-86-2	アセトフェノン	0.2006%

(14ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(13ページの続き)

103-33-3	アゾベンゼン	0.2006%
120-58-1	イソサフロール	0.2006%
126-68-1	O,O,O-トリエチルホスホロチオアート	0.2006%
130-15-4	1, 4 - ナフトキノン	0.2006%
135-23-9	塩酸メタピリレン	0.2006%
298-00-0	【メチルパラチオン】	0.2006%
298-02-2	【ホレート】	0.2006%
298-04-4	ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)	0.2006%
465-73-6	イソドリン	0.2006%
510-15-6	クロロベンジラート	0.2006%
608-93-5	1, 2, 3, 4, 5 - ペンタクロロベンゼン	0.2006%
1888-71-7	ヘキサクロロプロパ - 1 - エン	0.2006%
2303-16-4	ジイソプロピルチオカルバミド酸S - (2, 3 - ジクロロアリル)	0.2006%
3689-24-5	【スルホテップ】	0.2006%

・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
・ 化審法

・ 既存化学物質

75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	2-36
71-43-2	ベンゼン	3-1
67-64-1	アセトン	2-542
52-85-7	ファムフル	
56-38-2	パラチオン	
60-51-5	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]	2-1962
70-30-4	ヘキサクロロフェン	4-88
76-01-7	ペンタクロロエタン	2-57
94-59-7	サフロール	5-3561
95-94-3	1, 2, 4, 5 - テトラクロロベンゼン	3-76
98-86-2	アセトフェノン	3-1231
103-33-3	アゾベンゼン	3-361
120-58-1	イソサフロール	5-511
126-68-1	O,O,O-トリエチルホスホロチオアート	
130-15-4	1, 4 - ナフトキノン	4-372
135-23-9	塩酸メタピリレン	
298-00-0	【メチルパラチオン】	
298-02-2	【ホレート】	
298-04-4	ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)	
510-15-6	クロロベンジラート	4-156
608-93-5	1, 2, 3, 4, 5 - ペンタクロロベンゼン	3-76
2303-16-4	ジイソプロピルチオカルバミド酸S - (2, 3 - ジクロロアリル)	
3689-24-5	【スルホテップ】	

(15ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(14ページの続き)

・特定化学物質		
608-93-5	1, 2, 3, 4, 5 - ペンタクロロベンゼン	第1種
・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	旧第二, 旧第三
71-43-2	ベンゼン	旧第二
60-51-5	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]	旧第二
・優先評価化学物質		
71-43-2	ベンゼン	
67-64-1	アセトン	
・白物質		
非該当		
・既存化学物質安全性点検結果 (分解性・蓄積性)		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	
71-43-2	ベンゼン	
67-64-1	アセトン	
60-51-5	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]	
70-30-4	ヘキサクロロフェン	
95-94-3	1, 2, 4, 5 - テトラクロロベンゼン	
98-86-2	アセトフェノン	
130-15-4	1, 4 - ナフトキノン	
510-15-6	クロロベンジラート	
608-93-5	1, 2, 3, 4, 5 - ペンタクロロベンゼン	
・既存化学物質安全性点検結果 (毒性)		
非該当		
・PRTR 制度 - 第一種指定化学物質		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	186 42.3434%
71-43-2	ベンゼン	400 27.909%
・PRTR 制度 - 第二種指定化学物質		
非該当		
・毒物及び劇物取締法:劇物		
60-51-5	ジチオリン酸O, O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]	0.2006%
298-04-4	ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)	0.2006%
・毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの		
非該当		
・毒物及び劇物取締法:毒物		
56-38-2	パラチオン	0.2006%
298-00-0	【メチルパラチオン】	0.2006%
298-04-4	ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)	0.2006%
・毒物及び劇物取締法:特定毒物		
56-38-2	パラチオン	0.2006%
298-00-0	【メチルパラチオン】	0.2006%

(16ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(15ページの続き)

労働安全衛生法

危険物

爆発性の物 (施行令別表第 1 第 1 号)

非該当

発火性の物 (施行令別表第 1 第 2 号)

非該当

酸化性の物 (施行令別表第 1 第 3 号)

非該当

引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号)

71-43-2 ベンゼン

67-64-1 アセトン

可燃性のガス (施行令別表第 1 第 5 号)

非該当

特定化学物質等

第一類物質

非該当

第二類物質

75-09-2 ジクロロメタン (別名塩化メチレン)

71-43-2 ベンゼン

第三類物質

非該当

名称等を通知すべき有害物 (別表第 9)

75-09-2 ジクロロメタン (別名塩化メチレン)

257

71-43-2 ベンゼン

531

67-64-1 アセトン

17

56-38-2 パラチオン

223

298-00-0 【メチルパラチオン】

294

298-02-2 【ホレート】

266

298-04-4 ジチオリン酸O, O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)

265

3689-24-5 【スルホテップ】

109

製造許可物質

非該当

鉛中毒予防規則 (施行令別表第 4)

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則 (施行令別表第 5)

非該当

有機溶剤中毒予防規則第 (施行令別表第 6 の 2)

第一種有機溶剤等

非該当

第二種有機溶剤等

67-64-1 アセトン

(17ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(16ページの続き)

・第三種有機溶剤等		
非該当		
・強い変異原性が認められた化学物質		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	
130-15-4	1 , 4 - ナフトキノン	
・海洋汚染防止法		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	
71-43-2	ベンゼン	
67-64-1	アセトン	
56-38-2	パラチオン	
60-51-5	ジチオリン酸O , O - ジメチル - S - [(N - メチルカルバモイル) メチル]	
76-01-7	ペンタクロロエタン	
298-00-0	【メチルパラチオン】	
298-02-2	【ホレート】	
298-04-4	ジチオリン酸O , O - ジエチル - S - (2 - エチルチオエチル)	
2303-16-4	ジイソプロピルチオカルバミド酸S - (2 , 3 - ジクロロアリル)	
・特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律		
・特定物質代替物質		
非該当		
・特定物質		
非該当		
・大気汚染防止法		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	
71-43-2	ベンゼン	
608-93-5	1 , 2 , 3 , 4 , 5 - ペンタクロロベンゼン	
・水質汚濁防止法		
・有害物質		
75-09-2	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	2-11
71-43-2	ベンゼン	2-22
56-38-2	パラチオン	2-3
298-00-0	【メチルパラチオン】	2-3
・指定物質		
70-30-4	ヘキサクロロフェン	3-3-55

・消防法 - 指定数量: 区分外

・消防法 - 類別: 区分外

・使用上の制約に関する注意事項:

被用者はこの調合に含まれる発ガン性危険成分に暴露されてはならない。ただし、場合に応じて関係当局が例外許可をおこなうこともある

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

JP

(18ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2021.05.30

バージョン番号: 2

改訂日: 2021.05.30

化学品の名称 Appendix IX Standard (1 x 1 mL)

(17ページの続き)

16 その他の情報

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

PRTR/化管法: 化学物質排出把握管理促進法

引火性液体 区分2: Flammable liquids – Category 2

急性毒性(経口) 区分2: Acute toxicity – Category 2

急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity – Category 3

急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity – Category 4

急性毒性(経皮) 区分1: Acute toxicity – Category 1

皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2B: Serious eye damage/eye irritation – Category 2B

生殖細胞変異原性 区分1B: Germ cell mutagenicity – Category 1B

生殖細胞変異原性 区分2: Germ cell mutagenicity – Category 2

発がん性 区分1A: Carcinogenicity – Category 1A

発がん性 区分1B: Carcinogenicity – Category 1B

発がん性 区分2: Carcinogenicity – Category 2

授乳に対するまたは授乳を介した影響: Reproductive toxicity – effects on or via lactation

生殖毒性 区分2: Reproductive toxicity – Category 2

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分1: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 1

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 2

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分1: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 1

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 2

吸引性呼吸器有害性 区分1: Aspiration hazard – Category 1

水生環境有害性(急性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 1

水生環境有害性(急性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 2

水生環境有害性(急性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 3

水生環境有害性(慢性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 1

水生環境有害性(慢性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 2

* 前の版からデータを変更